

様式 11-1

事業報告書

(自 令和4年 4月 1日 至 令和5年 3月 31日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 医療法人社団須山クリニック
 ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)
 ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
☐ 出資額限度法人 ☒ その他
 ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用
- (2) 事務所の所在地 兵庫県芦屋市精道町7番1号
- (3) 設立認可年月日 平成 12年 3月 24日
- (4) 設立登記年月日 平成 12年 4月 6日

2 事業の概要

(1) 本来業務

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
診療所	須山脳神経外科 クリニック	兵庫県芦屋市精道町7番1号	無

(2) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 4年 5月 30日

令和 3年度決算の承認

令和 4年 11月 29日

令和 4年度中間決算の報告

法人名 医療法人社団須山クリニック

※医療法人整理番号

所在地 兵庫県芦屋市精道町7番1号

財 産 目 録

(令和 5 年 3 月 31.日現在)

1. 資 産 額	178,946 千円
2. 負 債 額	46,701 千円
3. 純 資 産 額	132,245 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	56,375
B 固 定 資 産	122,571
C 資 産 合 計 (A+B)	178,946
D 負 債 合 計	46,701
E 純 資 産 (C-D)	132,245

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

建 物 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

診療所のみを運営する法人

法人名 医療法人社団須山クリニック ※医療法人整理番号
所在地 兵庫県芦屋市精道町7番1号

貸借対照表
(令和 5年 3月 31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	56,375	I 流 動 負 債	46,701
II 固 定 資 産	122,571	II 固 定 負 債、	
1 有 形 固 定 資 産	62,752	(うち医療機関債)	
2 無 形 固 定 資 産	0	負 債 合 計	46,701
3 その他の資産	59,819	純 資 産 の 部	
(うち保有医療機関債)		科 目	金 額
		I 出 資 金	20,000
		II 積 立 金	112,245
		III 評価・換算差額等	
		純 資 産 合 計	132,245
資 産 合 計	178,946	負債・純資産合計	178,946

千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

(注)経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

法人名医療法人社団須山クリニック

※医療法人整理番号

所在地兵庫県芦屋市精道町7番1号

損 益 計 算 書
(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月 31日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	95,105
2 事業費用	94,958
本来業務事業利益	147
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	0
2 事業費用	0
附帯業務事業利益	0
事業利益	147
II 事業外収益	2,697
III 事業外費用	0
経常利益	2,844
IV 特別利益	80
V 特別損失	0
税引前当期純利益	2,924
法人税等	211
当期純利益	2,713

- (注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。
3. 千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

法人名	医療法人社団須山クリニック	※医療法人整理番号						
所在地	兵庫県芦屋市精道町7番1号							

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	資産 総額 (千円)	事業の内 容	関係事業 者との関 係	取引の内 容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業 者との関 係	取引の内 容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

- (注) 1 関係事業者ごとに記載すること。
 2 種類は医療法施行規則第32条の6に定める関係事業者のうち該当する関係を記載する。
 近親者である場合には続柄を記載する。
 3 次に定める取引については上記の注記を要しない。
 イ 一般競争入札による取引並びに預金利息及び配当金の受取りその他取引の性格からみて
 取引条件が一般の取引と同様であることが明白な取引。
 ロ 役員に対する報酬、賞与及び退職慰労金の支払い
 4 該当する取引がない場合には「該当なし」と記載する。

監 事 監 査 報 告 書

医療法人社団須山クリニック
理事長 須山 徹 様

私は、医療法人社団須山クリニックの令和4会計年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

令和 5年 5月 30日
医療法人社団須山クリニック
監事 御前 喜久子